

Universal Health Coverage(以下、UHC とする。)とは、「すべての人が基礎的な保健医療サービスを、必要な時に、負担可能な費用で受けられること」であり、前号では内閣官房の健康・医療戦略室における関係会議の枠組みや、各国のグローバルヘルス戦略を紹介しました。UHC の実現には、質の高い健康・医療の技術だけでなく、経済的および慣習的な課題があり、様々な産業の取り組みが必要であることを理解いただけたかと思います。今回は、医療機器産業にフォーカスをあてて、より具体的な政府の施策を紹介します。

厚生労働省と経済産業省は、「医療の国際展開」としてインバウンド施策とアウトバウンド施策を掲げています¹⁾。インバウンド施策は、訪日外国人が日本国内で安心して医療サービスを受診できるような受け入れ体制を整える取り組みで、例えば、医療機関向けに外国人患者の受け入れマニュアルや遠隔通訳サービスを提供しています。一方、アウトバウンド施策は、各国の実情に応じた優れた機器やサービスの提供、また日本の保険制度や公衆衛生対策のノウハウなどを共有する取り組みによってUHCへ貢献しています(図1, 2参照)。これは、優れた機器やサービスの輸出が増えることも期待している施策であり、医療機器産業にとって関心が高いかと思います。前号でも紹介した通り、経済産業省のホームページには、「医療国際展開カントリーレポート」として、新興国のヘルスケア市場環境に関する情報がまとめられています。また、「海外医療機器規制レポート」や「海外の医療機器メーカーの海外展開動向」の報告書では、医療機器に対する各国の規制と新興国への展開戦略など、国際展開を検討する企業にとって参考になる情報が多数公表されています²⁾。

さらに、厚生労働省のホームページには、「開発途上国・新興国における医療技術等実用化研究事業」や、この後で紹介する「医療技術等国際展開事業」および「国際公共調達情報プラットフォーム」といった国際展開に関する支援事業が公表されています¹⁾。

医療の国際展開

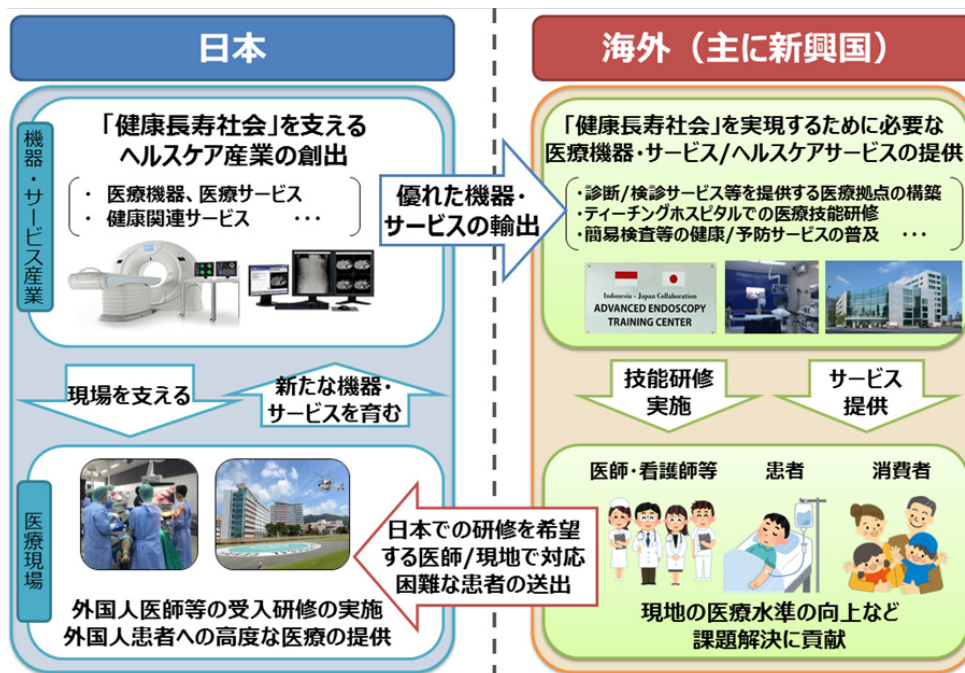


図1 医療の国際展開

〔出所〕 経済産業省ホームページ、医療の国際展開とは¹⁾

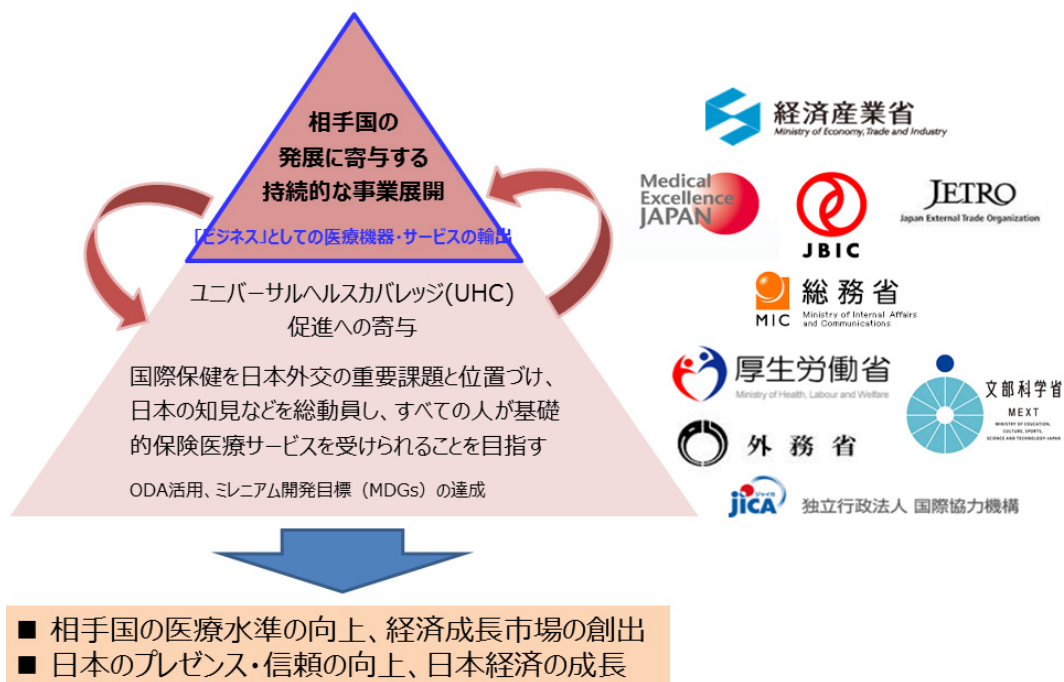


図2 アウトバウンド推進の概要

[出所] 経済産業省ホームページ、日本の医療技術・サービスの国際展開支援²⁾

ところで12月12日は、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ国際デー(International Universal Health Coverage Day)です³⁾。UHCの重要性を発信するために、世界中で様々なイベントが開催されたかと思えます。UHCの実現に向けた海外の取り組みは、国際連合のホームページ等で多数紹介されていますので是非この機会にご覧ください^{4,5)}。また、国立研究開発法人国立国際医療研究センター(National Center for Global Health and Medicine。以下、「NCGM」とする。)のホームページでは、「国内外の事例から学ぶ医療製品の国際展開」と題したセミナーの動画が公開されており、多くの方に馴染みやすいものかと思えます⁶⁾。今回、本セミナーで報告された日本政府の取り組みから「医療技術等国際展開推進事業」を取り上げて紹介します。



図3 12/12 Universal Health Coverage day

[出所]国際連合ホームページ⁵⁾

この事業は2015年から厚生労働省の補助金を受けており、NCGMが事業主となっています⁷⁾。相手国の医療従事者への研修を通して、医療技術とともに日本の医療機器の良さを理解していただく機会となっています。日本の医療機器の質の高さを感じた相手国は、自国政府の予算で医療機器を調達しています(図4参照)。また、国家計画や国レベルでのガイドラインに採択されることで、相手国内での認識が広がり、健康保険にも適用され、施設独自での調達や学んだ医療技術の院内運用が促進されます。すでに実績が出ており、2019年から2021年の3年間で49種類の医療機器が相手国政府の予算で調達され、国家計画／ガイドライン採択・保険収載には16例適用されました⁶⁾。このように企業と医療機関がタイアップしてグローバルヘルスに貢献し、医療環境の整備や各国のニーズに適した医療機器の輸出を後押しできている取り組みだと思えます。

【相手国の調達につながった医療機器等の例】



図4 医療技術等国際展開推進事業

[出所]第4回 医療機器・ヘルスケア開発協議会, 資料2-5⁸⁾

次に、2022年度から厚生労働省が委託している新しい事業「国際公共調達情報プラットフォーム」を紹介します(図5参照)。国際公共調達とは、WHOやユニセフなどの国連機関や国際機関、または開発途上国・新興国の公共機関が実施する物品やサービスの調達であり、この事業は国際調達に関する公募情報を提供しています。

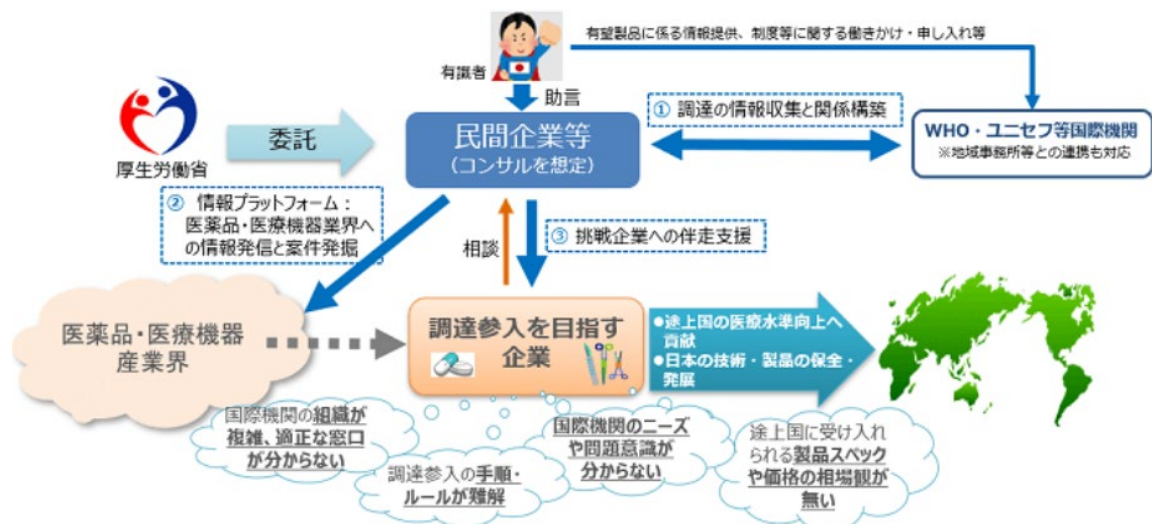


図5 国際公共調達情報プラットフォームについて

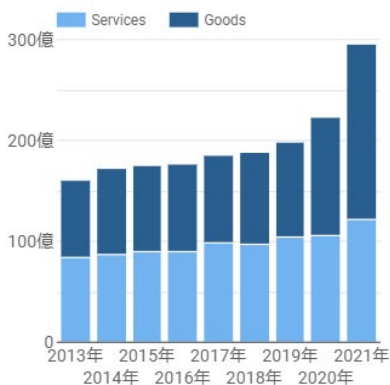
[出所]国際公共調達情報プラットフォームホームページ⁹⁾

UNITED NATIONS GLOBAL MARKETPLACEの統計報告によると、国際公共調達市場は2021年に296億USDに達している成長市場であり、医療機器は23.5億USDの規模があるようです(図6, 7参照)。しかし、この市場における日本企業の活躍は低調な状況であり、2020年における医療分野の国際公共調達市場の内訳は、米国13%、中国13%、仏6%、独4%、韓3%、英2%であるのに対し日本は0.5%のようです¹⁰⁾。そこで、厚生労働省は本プラットフォーム事業を民間に委託し、国際機関などにおける調達情報の提供や専門家による助言を通して、各企業での活用を促進しています。メールマガジンの利用だけでも価値のある情報源になるかと思えます。

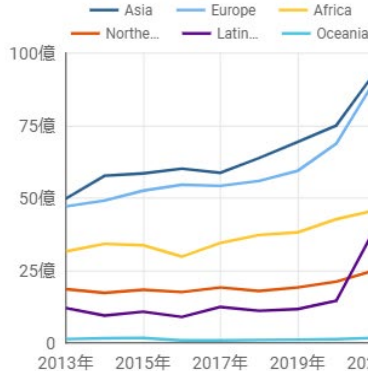
Key statistics

ungm.org/ASR

Procurement by type (USD)



Procurement by region



Top supplier countries, 2021

Supplier country	Procurement value (USD)
United States of America	23.3億
Mexico	22.9億
China	17.3億
Switzerland	17.2億
India	12.5億
Denmark	11.2億
Belgium	9.9億
France	8.2億



Annual Statistical Report on United Nations Procurement

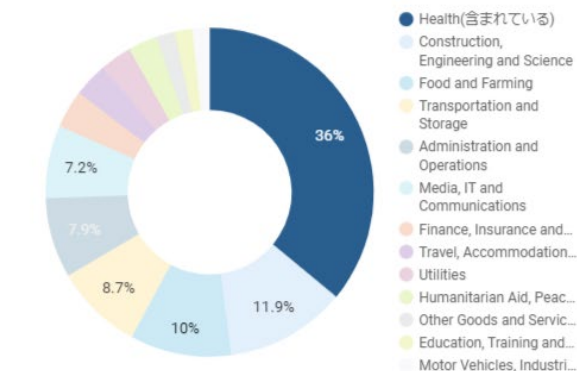
図6 国際公共調達市場のトレンドと主なサプライヤ

[出所]UNITED NATIONS GLOBAL MARKETPLACE, Annual statistical report on un procurement¹¹⁾

Category statistics

ungm.org/ASR

Procurement by ASR sector, 2021



Annual Statistical Report on United Nations Procurement

図7 国際公共調達の分野と医療分野における調達額の内訳

[出所]UNITED NATIONS GLOBAL MARKETPLACE, Annual statistical report on un procurement¹¹⁾

Procurement by UNSPSC segment, 2021

Category (UNSPSC segment level)	Procurement value (USD)
Pharmaceuticals, Contraceptives, Vaccines	80.5億
Medical Equipment and Supplies	23.5億
Healthcare Services	1.9億
Apparel, Luggage and Personal Care	3,429.9万
Sports and Recreational Equipment	1,476.5万
Politics and Civic Affairs Services	135.5万

今回は、UHCの実現に向けた政府の施策と具体的な活動を紹介しました。相手国に適切な教育を受けた医療人材が充足され、経済的な課題が解決し、医療に対する国民の文化が変わるまでは長い道のりかと思えます。短期的な利益が見込めずビジネスモデルを構築する難しさがあると思いますが、未開拓な市場としての魅力もあります。また、日本でも自然災害等により、特定の地域が開発途上国・新興国のような医療環境と類似する状況になるかもしれません。有事の状況下でも最低限の医療サービスが提供できるための備えは先進国のニーズでもあります。医療機器に係わる皆様グローバルヘルスに興味を持ち、UHCの実現に近づくことを願っています。

◇出典(URLは2022年12月7日時点)

1)厚生労働省, 医療の国際展開,

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/kokusai/index.html>

経済産業省, 医療・介護の国際展開

<https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/iryuu/index.html>

2)経済産業省, 日本の医療技術・サービスの国際展開支援(アウトバウンド),

<https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/iryuu/outbound/index.html>

<https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/iryuu/outbound/activity/index.html>

3)UHC2030, International Universal Health Coverage Day,

<<https://www.uhc2030.org/what-we-do/voices/universal-health-coverage-day/>>

<<https://universalhealthcoverageday.org/>>

4)国際連合広報センター, すべての人に健康を,

<https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/social_development/universal_health_coverage/>

5)国際連合, International Universal Health Coverage Day

<<https://www.un.org/en/observances/universal-health-coverage-day>>

6)国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 国際医療協力局, 国際医療展開セミナー開催,

<<https://kyokuhp.ncgm.go.jp/activity/internal/consult/seminar/index.html>>

7)国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 国際医療協力局, 医療技術国際展開推進事業

<<https://kyokuhp.ncgm.go.jp/activity/open/index.html>>

8)経済産業省, 第4回 医療機器・ヘルスケア開発協議会, 資料2-5 厚生労働省資料

<https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/medical_equipment_healthcare/004.html>


9)株式会社野村総合研究所, 令和4年度開始厚生労働省委託事業, 国際公共調達情報プラットフォーム, <<https://ippip.jp/>>

10)内閣官房 健康・医療戦略推進本部, 第2回健康・医療産業等国際展開協議会,

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryuu/kenkoiryuu_kokusai/dai2/gijisidai.html>

11) UNITED NATIONS GLOBAL MARKETPLACE, Annual statistical report on un procurement, <<https://www.ungm.org/Shared/KnowledgeCenter/Pages/ASR>>

(医療機器政策調査研究所 平井 祐治 記)

医療機器政策調査研究所からのお知らせ  @JFMDA_MDPRO
Twitter で医療機器産業に関連するニュースを配信中。医機連トップページからフォローできま